

令和6年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	障害児入所施設 はまゆり学園		
指定管理者	法人名	社会福祉法人 みちのく福祉会	
	代表者	理事長 内田大輔	
	所在地	むつ市大字奥内字大室平91番地1	
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日（3年間）		
指定管理業務の概要	1. 障害児入所支援 2. 短期入所事業 3. 日中一時支援事業		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	134,960	69,591	▲65,369
うち利用料金額	72,593	5,014	▲67,579
うち指定管理料	106,431	53,217	▲53,214
支出合計 (B)	134,960	58,168	▲76,792
うち人件費	90,814	44,323	▲46,491
収支差 (A-B)	0	11,423	11,423
組合への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	・4月から9月の入所利用児童は7名で、おおよそ計画のとおり推移している。 ・緊急一時保護においては、数名受け入れ、内1名が10月から措置入所となる。 ・短期入所事業、日中一時支援事業ともに、保護者様と都度コミュニケーションをとり、計画の約2倍の収入増となっている。内、短期入所事業を利用されている1名は、10月からの契約入所につながっている。		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
	入 所	7	7	0
短期入所	150	250	100	
日中一時	108	275	167	

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有)・無) 【年2回実施】

【入所児童】

週末の迎への都度、保護者との面談を実施し、園での様子を報告すると共に、ご意見やご要望を伺う機会を設けている。保護者からのご要望については、職員間で周知、共有し、必要に応じて学校と相談しながら日々の支援に生かしている。

短期入所事業、日中一時支援事業では、連絡帳や利用時及び帰宅時の面談、都度の電話連絡等とおしてご意見やご要望を伺っている。

【短期入所】

- ・自分からはのどの渇きを訴える事ができないため、適宜、水分補給をお願いします。
- ・急な利用でも、受入れていただきありがとうございます。
- ・活動の中に、外散歩やボール遊び等、運動の機会を取り入れてほしい。

- ・子どもが、はまゆり学園のお泊りを楽しみにしています。

【日中一時】

- ・平日や冬季の間だけでも送迎対応があると助かります。
- ・運動的な遊びを取り入れてほしい。
- ・土曜日の利用を増やしてほしい。
- ・子どもが利用を楽しみにしていて、帰宅すると楽しそうに話してくれます。
- ・電話対応や連絡帳など細かい気配りで、まめに連絡をしてくれるので助かります。
- ・学校の下校から親の仕事終わりまで、利用出来て助かっています。

4. 自主事業の実施状況（指定管理者企画事業）

単位：人、千円

事業名	障害児入所施設に関する説明会	収入	0	支出	0
事業内容	障害児に関わる方を対象に、はまゆり学園のサービスについて知る機会を設け、サポートに役立てていただく。				
実施状況	---				
利用者数	---				

5. 個別項目評価 ※指定管理者と組合の所管課が評価

評価基準A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	組合の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	A	A
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。 新型コロナウイルス感染症予防対策のため実施できず評価は空欄としています。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。

また、個別項目評価をCにした場合は、改善策も記載すること。

- ・利用者様が快適で住み心地が良く、安心してサービスを受けられるよう、月に一度、児童会議を行ない、児童自ら施設や職員に対する要望や、活動・行事の希望を発言出来る機会を設定。少しでも児童一人ひとりの思いや願いを叶える為に外出行事や園内での活動が充実したものとなるよう工夫しています。また、児童会議の前には相談システムを行ない、毎回1人ずつ第三者委員に学園生活や学校生活、自宅での生活のことなど遠慮なく相談しており、相談結果については相談システム終了後に第三者委員から聞き取りを行ない、アドバイスをいただくことで、事業運営における改善に役立っています。むつ養護学校教頭も第三者委員を務めていることから、学校側に対する児童からの意見はその場で教頭先生に伝達されるなど、課題がある時には早期に対応することが可能となっています。
- ・食事や嗜好品のニーズを把握する為、定期的に嗜好調査を実施。園内での食事やおやつを提供内容に反映させ、その他、手作りおやつや誕生会では嗜好に合わせたケーキを提供するなど、食の楽しみを感じていただけるように趣向を凝らしています。
- ・むつ養護学校と協同し、学校で開催される体験学習後にはまゆり学園へお立ち寄りいただき、これまでに3回、計8組の方にご来園いただいています。利用にあたってのご説明や施設内の見学案内を実施していますが、8組中3組が高等部に進学するタイミングでむつ養護学校への編入を希望されており、うち2組からは入所に向けた具体的な質問や、短期入所を利用するにあたってのお問い合わせがありました。
- ・下北圏域をフォローしている相談支援専門員とは、はまゆり学園の利用ニーズに関する情報交換を定期的に行なっており、実際に施設見学や利用に関する説明をしてほしいとの要望があり、ご家族や相談員から相談があった際には、来園日時の日程調整を行ない、その都度対応しています。
- ・ニーズの掘り起こしを目的に、施設見学会や各地域の行政機関担当者へのサービス説明や情報共有を行なっております。前期は、行政からの情報により、知的障害をもつ不登校児童が当学園の日中一時、短期入所を利用する事により、現在、自宅以外の場所で過ごせるようになっているケースがございます。

今後も、はまゆり学園の事業や機能を最大限に活用し、ご本人もご家族も、安心して暮らせる地域づくりに微力ながらお手伝いさせていただければと考えております。

7. 組合の所管課総合評価 ㊤組合の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

短期入所、日中一時支援の利用者数が上半期において年間計画を大きく上回るなど、はまゆり学園の周知広報に積極的に取り組んでいただいた成果が現れているものと認識しています。

また、週末の迎える都度、保護者と面談を実施し、園での様子を報告すると共に、意見や要望を伺う機会を設けている。さらには、保護者からの要望についても、職員間で周知、共有し、必要に応じて学校と相談しながら日々の支援に生かしているとのことから、現場におけるニーズの把握に努め、利用者本人及びご家族に寄り添った運営がなされているものと評価します。